

平成30年3月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成30年3月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者（会派名）			質問方式
3月6日(火)	10:00～	代表	1	奥村 泰幸 (新清流会)	一括
	11:20～		2	木曾 利廣 (緑風会) ※質問	一括
				休憩	
	13:00～			※答弁	
	13:40～		3	田中 豊 (共産党議員団)	一括
			休憩		
	15:20～		4	藤本 弘 (公明党議員団)	一括
3月7日(水)	10:00～	個人	5	小川 克己	一問一答
	10:35～		6	明田 昭	一問一答
	11:10～		7	馬場 隆	一問一答
				休憩	
	13:00～		8	山本由美子	一問一答
	13:35～		9	齊藤 一義	一問一答
	14:10～		10	竹田 幸生	一問一答
3月8日(木)	10:00～	個人	11	並河 愛子	一問一答
	10:35～		12	富谷加都子	一問一答
	11:10～		13	石野 善司	一問一答
				休憩	
	13:00～		14	平本 英久	一問一答
	13:35～		15	三上 泉	一問一答
	14:10～		16	福井 英昭	一問一答
				休憩	
	15:05～		17	西口 純生	一問一答
15:40～	18	奥野 正三	一問一答		

※1回目の質問後休憩

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成30年3月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	奥村 泰幸 (新清流会) 3月6日(火) 10:00~ ※代表質問 (一括)	1 施政方針について 2 平成30年度当初予算(案)について 3 人材育成について 4 亀岡市ゼロエミッション計画について 5 新火葬場整備について 6 国民健康保険について 7 介護保険事業について	施政方針について問う。 (1) 人口減少対策の具体策は。 (2) 本年は生涯学習都市宣言30周年となる。これまでの軌跡と記念事業は。 平成30年度当初予算(案)について問う。 (1) 平成29年度市税決算見込額は。 (2) 平成30年度当初予算(案)における市税の状況は。(税収内容と前年度当初予算ベースでの比較) (3) 平成30年度固定資産評価替えの影響は。 本市における人材育成について問う。 (1) 職員のスキルアップについての考えは。 (2) 専門職員の育成についての考えは。 (3) 亀岡市の働き方改革の取組みは。 (4) トップマネジメントの充実についての考えは。(副市長の2人制) 亀岡市ゼロエミッション計画について問う。 (1) ゼロエミッション計画の概要は。 (2) 計画策定の背景は。 (3) ゼロエミッション計画の基本理念と基本方針は。 (4) ゼロエミッション計画の具体的な取組み内容は。 新火葬場整備について問う。 (1) 平成29年度の亀岡市新火葬場整備検討審議会の審議状況は。 (2) 亀岡市における火葬需要の見込みは。 (3) 火葬場の整備における近隣市町との連携は。 (4) 新火葬場整備の今後のスケジュールは。 国民健康保険について問う。 (1) 平成30年度国民健康保険制度改革の概要は。 (2) 制度改革に伴う亀岡市のメリットは。 介護保険事業について問う。 (1) 平成30年度から始まる第7期介護保険事業計画の計画策定の進捗状況は。 (2) 65歳以上の高齢者が負担する介護保険料はいくらになるのか。 (3) 介護報酬改定の影響は。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		<p>8 敬老乗車券事業について</p> <p>9 こども医療費について</p> <p>10 公立保育所の民営化について</p> <p>11 国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区について</p>	<p>敬老乗車券事業について問う。 (1)平成29年度から実証実験として取組んだ敬老乗車券事業の現時点での成果は。 (2)次年度への継続と改善点は。</p> <p>こども医療費について問う。 (1)こども医療費助成制度については、平成29年度から多子世帯に対する制度拡充を実施したが、その実績は。 (2)今後、さらなる制度拡充に向けた取組みの考えはあるのか。</p> <p>公立保育所の民営化について問う。 (1)公立保育所の民営化のメリットは。 (2)民営化に向けて取組む考えはあるのか。</p> <p>国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区について問う。 (1)平成29年度国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区の進捗状況は。 (2)整備が完了した川東地区の営農の取組み状況は。 (3)亀岡中部地区における今後の営農の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
2	<p>木曾 利廣 (緑風会) 3月6日(火) 11:20~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 平成30年度予算編成について</p> <p>2 桂川・支川対策の推進について</p>	<p>平成30年度予算編成基本方針の、市民力で未来を拓く！～選ばれるまち 住み続けたいまち～かめおか・未来・チャレンジビジョンの推進を掲げた、桂川市政3年目の予算内容について問う。 (1)予算編成に当たって最も重要視した点は。 (2)第4次亀岡市総合計画後期基本計画にある夢ビジョン推進の予算になっているのか。 (3)京都スタジアム(仮称)を核とする亀岡駅(南・北)の総合的なにぎわいづくりとは。 (4)ふるさと納税を含む長期的な自主財源の確保の計画は。 (5)住み続けたい魅力あるまちづくりのための重要な施策として、安心安全の一時避難所でありコミュニティの場所である地域集会所の耐震・全面改修対策は。 (6)緊急対策のための、必要な財政調整基金の確保はされているのか。</p> <p>近年増加する異常気象によるスーパー台風やゲリラ豪雨対応が必要と考えるが、その対策について問う。 (1)京都府が進める基本計画の平成30年度に実施される取組みと本市の豪雨対策は。 (2)平成30年度の京都府の予算は。本川・支川の事業内容は。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 本市職員と京都府及び国の機関との人事交流について</p> <p>4 子育て支援の拡充について</p> <p>5 道路行政の整備について</p> <p>6 篠町西山団地入口の国道9号への信号設置要望と市道認定について</p> <p>7 鳥獣対策について</p> <p>8 JR千代川駅整備について</p>	<p>桂川市長が掲げる市役所職員の能力発揮と地方創生実現のための1つが、京都府や国との人事交流と考える。</p> <p>(1) 地方創生の積極的な取り組みを進めるため、市長の人脈と手腕を生かし、さらに人材育成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 京都府や国との人事交流で、さらに発展するまちへと躍進すべきと考えるがどうか。</p> <p>子育て・教育で憧れのまちとなるためには、子育て支援のさらなる充実が必要である。</p> <p>(1) 待機児童ゼロを推進するために、子育て支援策のさらなる充実は。</p> <p>(2) 児童虐待の対策と、子どもの貧困対策の予算確保は。</p> <p>国道9号の渋滞緩和を目的に中矢田篠線(篠工区)が平成28年2月24日完成した。国道の渋滞は少しは緩和されたが、スタジアムが完成すれば国道の渋滞が起これと考える。さらに北古世西川線の整備と馬堀停車場篠線の整備が必要と考える。</p> <p>(1) 北古世西川線の早期完成が望まれているが、開通日程と安全対策の状況は。</p> <p>(2) 馬堀停車場篠線の広道交差点から国道9号までの整備の進捗状況は。</p> <p>(3) 北古世西川線の完成に伴い、市民要望の多い馬堀駅・市立病院と亀岡駅を連絡するコミュニティバス運行の計画は。</p> <p>(4) 緊急災害対策と慢性的な渋滞緩和対策のための、国道9号のダブルルートの要望の現状は。</p> <p>40年前に京都府が開発許可を出して西山団地ができて以来、住民の40年来の要望は民有地を市道に認定してほしい、西山団地入口の国道9号に信号を設置してほしいということである。このことについての取組みを問う。</p> <p>(1) 西山団地入口の国道9号への信号設置は可能か。</p> <p>(2) 二重登記になっている現状があるが、解決策は。</p> <p>(3) 現状で、準市道認定されるのか。</p> <p>市内一円に鳥獣被害が広がりつつある現状に、本市としての対策を問う。</p> <p>(1) イノシシやシカの個体数を削減するため、高齢化と狩猟従事者確保のための対策は。</p> <p>(2) 個体数の削減対策として、本市の補助金を増額すべきと考えるがどうか。</p> <p>市内で唯一、駅舎整備ができていない千代川駅の平成30年度の整備計画を問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	--	---	---

		<p>9 公共施設の整備について</p>	<p>(1) 昨年に引き続き、平成30年度の予算及び実施計画について尋ねる。 (2) JRとの協議と事業予算の割合は。</p> <p>亀岡会館・中央公民館・厚生会館の耐震診断の結果に伴う解体後の施設計画について問う。 (1) 平成30年度の解体は予算に上がっているが、その後の土地利用と、市民要望の強い公共施設建設計画は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>田中 豊 (共産党議員団) 3月6日(火) 13:40~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 施政方針と来年度予算案について</p> <p>2 憲法9条について</p>	<p>平成30年度施政方針について、以下の点を問う。 (1) 「平成30年、2018年は、明治150年の節目の年」と表現されているが、「明治150年の節目の年」とはどのような意味なのか。 (2) 京都スタジアム(仮称)について、「新たな亀岡のまちづくりやにぎわいづくりが展開していくものと確信しております。」とあるが、具体的にはどのようなまちづくりやにぎわいづくりなのか。 (3) 「我が国においては、近隣諸国はもとより、世界各国との平和的外交、核兵器の廃絶を押し進める必要があると考えております。」と述べられたが、この部分については同意するものである。 ①核兵器廃絶に関わって、昨年7月に国連で核兵器禁止条約が人類史上初めて採択された。この条約について、改めて市長の所見は。 ②唯一の被爆国である日本政府は、核兵器禁止条約に参加すべきと考えるが所見は。 (4) 施政方針では、市民の暮らし、農林業者、商工業者の現状に言及がない。 ①市民の暮らしや地域経済の現状把握はどうか。 ②地域経済の担い手は中小企業・農家などであり、その地域内投資力を高め、個人向け小売業やサービス業の仕事と所得が増える地域循環型の施策が必要と考えるがどうか。</p> <p>現在の日本国憲法は、戦前の専制支配と人権抑圧の政治が侵略戦争に突き進み、日本国民とアジアの国々の国民などに多大な被害を与えた反省の上に立って、国民主権や平和主義、基本的人権の尊重などを原則にしており、日本が世界に誇る貴重な財産である。 安倍首相は昨年の憲法記念日に、憲法9条に自衛隊を書き込むなどの改憲を2020年に施行すると公言して以来、ことあるごとに改憲発言を繰り返している。 年明けの新聞などの世論調査結果は、9条改憲「不要」が53%(日本世論調査会、1月3日付各紙)、改憲の論議「急ぐ必要はない」が67%</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 京都スタジアム（仮称）について</p>	<p>（同）、安倍政権での改憲に反対が54.8%（共同通信、1月15日付各紙）、憲法に自衛隊を明記する首相の提案に「反対」が52.7%（同）、憲法改正は「優先的に取り組むべき課題だとは思わない」が54%（朝日新聞、1月23日付）等々となっている。</p> <p>（1）亀岡市は世界連邦・非核平和都市を宣言しているが、市長の憲法9条に対する所見を問う。</p> <p>2017年（平成29年）12月20日付で京都弁護士会会長名で、「京都スタジアム（仮称）建設及び亀岡駅北土地区画整理事業についての意見書」が知事と市長あてに提出された。</p> <p>（1）この意見書の「第1 意見の趣旨」に記載されている4点に対する所見を求める。</p> <p>（2）「第2 意見の理由」の「5 浸水被害の可能性について」には、「前回意見書において、公園事業及び駅北事業による浸水被害の可能性のあることを踏まえて、「2013年（平成25年）台風18号など近時の気象データに基づいた浸水シミュレーションを実施して、これらの各事業予定地及びその周辺地域に浸水被害が生ずることがないことを検証し、仮に浸水被害が生ずるおそれが認められる場合には治水対策を見直すべきである。」こと、「浸水シミュレーションの結果を踏まえて、各事業予定地及びその周辺地域に浸水被害が生ずるおそれがないこと及びその治水対策について、府市民その他関係者に対して、十分に説明すべき」ことを求めたが、全く実施されていない。」と記載されている。なぜ実施していないのか。</p> <p>（3）スタジアム建設に係る、環境影響モニタリング調査は、アジア航測（株）が昨年受注し、平成29年9月22日から平成30年7月30日の期間において行うこととされている。</p> <p>①業者への発注書は公開できるか。</p> <p>②このモニタリング調査の頻度はどれくらいなのか。</p> <p>③調査結果は当然府民に公開されるべきものだが、経過も含めて、どれくらいの間隔で公開されるのか。</p> <p>④また、その結果は環境保全専門家会議に報告され、工事続行の可否が判断されることになるが、その判断のための会議またはワーキンググループでの検討はどれくらいの頻度で行われるのか。</p> <p>⑤仮に、重大事象が発生し、工事が中断した場合、工事がストップしている期間の、建設業者の機械のリース代や人件費、諸経費は誰が負担するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	--------------------------	--	--------------------

		<p>4 生活保護制度について</p>	<p>⑥工事で水質に異常が生じた場合、アユモドキが待避できる場所をつくるとされているが、異常が発生してからでは間に合わない。待避場所をつくっても、アユモドキがそこに移動するののかもはっきりわからない。具体的にはどのように対応するのか。</p> <p>貧困の広がりには日本が直面する大きな問題である。ところが安倍政権は、憲法25条に明記された生存権を保障する生活保護の生活扶助費削減を強行しようとしている。</p> <p>母子家庭の貧困は深刻で、国の調査では、ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%となっている。</p> <p>(1)本市における要保護および準要保護児童生徒数の割合と人数はどうか。</p> <p>(2)政府は、来年度の生活保護費見直しにより、母子加算の平均2割削減をはじめとして、児童養育加算・教育扶助・生活扶助も見直そうとしており、子どもの多い世帯ほど削減額が大きくなる。計画どおりに見直された場合、親子4人家族の減額はいくらになるのか。</p> <p>(3)生活保護を利用する条件のある人のうち実際に利用している人の割合(捕捉率)が2割程度といわれているが、本市では捕捉率の調査をしているのか。</p> <p>(4)生活保護基準は、住民税の非課税限度額、就学援助、最低賃金、国保・介護負担減免、公営住宅の家賃減免など他の制度の基準とも連動し、その切下げは、市民・国民の暮らしを支える制度の全面的な縮小に直結する。国に対してやめるようにはっきり求めるべきであると考えがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 東本梅保育所の廃止について</p>	<p>1月20日(土)に東本梅町自治会で、わがまちトークが開催された。このわがまちトークでは、東本梅保育所を廃止し、本梅保育所に統合するという市の方針に話が集中した。</p> <p>総合計画の重点に定住促進と少子化対策が挙げられているが、東本梅保育所を廃止すれば若い世代の定住がなくなり、高齢化が急速に進むことになる。</p> <p>(1)総合計画との整合性はどうか。</p> <p>自治会では、保育所を含めて地域の活性化をどう図っていくのか、地域づくりをどうしていくのかという取組みが進められている。</p> <p>(2)こうした自治会・町民の取組みに水を差す東本梅保育所の廃止はきっぱりとやめるべきであると考えがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		6 「家族営農の10年間」について	<p>国連は、2017年12月20日、第72回総会本会で日本も共同提案国となった「家族営農の10年間」の議案を全会一致で可決した。</p> <p>(1) 「家族営農の10年間」に対する所見は。現在の政府の農政は、「戦後農政の総決算」として農地法、農協法、主要農産物種子法などを次々と改悪・廃止し、さらなる貿易自由化に対応するために農業経営の規模拡大や企業の農業参入などを推進している。</p> <p>(2) 亀岡市農政の現状はどうか。</p> <p>(3) 日本の農政を、家族営農を支援する農政へ転換することが必要と考えるがどうか。</p>	市長 所管部長
4	<p>藤本 弘 (公明党議員団) 3月6日(火) 15:20~</p> <p>※代表質問 (一括)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 ふるさと納税について</p>	<p>ここ数年が「選ばれるまち」「住み続けたいまち」となるかどうかの正念場である。人口も、このままいけば、いずれ8万人を割ってゆくと考える。</p> <p>(1) 京都スタジアム(仮称)を核とした、にぎわいの創出、地域経済の活性化について、市長としての考えは。</p> <p>(2) 亀岡市へのホテル誘致について、市長としてはどのように考え、どのような手を打っているのか。</p> <p>(3) 京都スタジアム(仮称)の利活用について、建設・運用の主体が京都府となっているため、情報の発信がまだまだ弱い。市民の不安を払拭するためにも、もっと積極的に府に働きかけ、市民に向かって情報の発信をしていくべきと思うが、市長の考えは。</p> <p>(4) 国道1号については、滋賀県や大津市が市南部と京都市山科区をトンネルで結ぶ「大津山科バイパス」の整備を国に要望しており、整備が進みつつある。亀岡新丸太町線の早期実現に向けて、市長の強いリーダーシップで、亀岡新丸太町線の経済効果と必要性を説き、2市1町で合意を図り、行政・議会・経済界が一致団結して、京都府・京都市・国土交通省へ、図面も添えて交渉に当たるべきと考えるが、市長の考えは。</p> <p>施政方針演説でも「魅力あるまちづくりをさらに発信し、返礼品として地元産品を数多く取り揃え、地域経済の活性化を進めてまいる」と述べられている。今後、大切になってくるのは、使い道と活用の仕方である。</p> <p>(1) 今現在の寄附の状況と平成29年度の見込みは。</p> <p>(2) 次年度の目標は2億円+αとしているが、少ないのではないか。</p> <p>(3) 返礼品として、亀岡産京野菜の生産体制、亀岡牛の生産体制は万全か。</p> <p>(4) ふるさと納税で南郷公園に明智光秀像を建立する事業の予算が2千万円となっている。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

		<p>①台座と像等の制作費の見積りは取っているか。</p> <p>②他の工房等からも相見積りを取り、金額が適正か確認しているか。</p> <p>③明年5月の完成を目指すとするが、制作依頼に当たって契約書を取り交わしているか。</p> <p>④契約発注の主体は、亀岡市か実行委員会か。</p> <p>(5)ふるさと納税で、保津川遊船の乗り場近くに、保津川水路開削の父「角倉了以翁」の像を亀岡の観光のシンボルとして建立してはどうかと考えるが、市長の考えは。</p> <p>(6)ふるさと納税で基金を作り、中学校給食の実現と無償化をしてはどうかと考えるが、市長の考えは。</p>	<p>①台座と像等の制作費の見積りは取っているか。</p> <p>②他の工房等からも相見積りを取り、金額が適正か確認しているか。</p> <p>③明年5月の完成を目指すとするが、制作依頼に当たって契約書を取り交わしているか。</p> <p>④契約発注の主体は、亀岡市か実行委員会か。</p> <p>(5)ふるさと納税で、保津川遊船の乗り場近くに、保津川水路開削の父「角倉了以翁」の像を亀岡の観光のシンボルとして建立してはどうかと考えるが、市長の考えは。</p> <p>(6)ふるさと納税で基金を作り、中学校給食の実現と無償化をしてはどうかと考えるが、市長の考えは。</p>	<p>市長</p>
	<p>3 「明智光秀」NHK大河ドラマ化について</p>	<p>毎年、明智光秀のNHK大河ドラマ誘致活動経費が計上されている。</p> <p>(1)来年度も誘致活動事業経費として216万円が計上されている。実現の見通しは。</p> <p>(2)NHK大河ドラマ化が実現すれば亀岡市に観光面・経済面での効果はあるが、大河ドラマ化で現代社会に何を訴えようとしているのか。</p> <p>(3)一番大事であるストーリー・脚本はあるのか。</p> <p>(4)今後の活動については、どのように考えるか。</p>	<p>毎年、明智光秀のNHK大河ドラマ誘致活動経費が計上されている。</p> <p>(1)来年度も誘致活動事業経費として216万円が計上されている。実現の見通しは。</p> <p>(2)NHK大河ドラマ化が実現すれば亀岡市に観光面・経済面での効果はあるが、大河ドラマ化で現代社会に何を訴えようとしているのか。</p> <p>(3)一番大事であるストーリー・脚本はあるのか。</p> <p>(4)今後の活動については、どのように考えるか。</p>	<p>市長</p>
	<p>4 受動喫煙防止条例の早期制定について</p>	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国は健康増進法改正により、受動喫煙防止に万全を期すよう法整備に取りかかっている。過去の五輪開催都市では、受動喫煙対策を徹底する伝統が確立されている。</p> <p>(1)昨年12月定例会では、「明後年の京都スタジアム（仮称）の完成に向け、路上喫煙禁止条例や受動喫煙防止条例等を制定しておく必要がある」との質問に、担当部長から「新たな条例の制定を視野に、検討を進めている」との答弁を得たが、市長の考えは。</p>	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国は健康増進法改正により、受動喫煙防止に万全を期すよう法整備に取りかかっている。過去の五輪開催都市では、受動喫煙対策を徹底する伝統が確立されている。</p> <p>(1)昨年12月定例会では、「明後年の京都スタジアム（仮称）の完成に向け、路上喫煙禁止条例や受動喫煙防止条例等を制定しておく必要がある」との質問に、担当部長から「新たな条例の制定を視野に、検討を進めている」との答弁を得たが、市長の考えは。</p>	<p>市長</p>
	<p>5 公共施設の効果的な活用と効率的な維持管理について</p>	<p>公共施設等総合管理計画に基づく施設の除却及び今後の展望について問う。</p> <p>(1)亀岡会館は平成30年3月31日をもって廃止され、次年度の除却事業として1億4260万円が計上されている。</p> <p>①全てを撤去するには、どれくらいの期間がかかり、撤去費用は総額どれくらいかかるか。</p> <p>②跡地利用についての考えは。</p> <p>③代替施設についての考えは。</p> <p>(2)亀岡市中央公民館も平成30年3月31日をもって廃止され、除却事業として次年度予算に8510万円計上されている。</p> <p>①除却に要する期間と総除却費用は。</p>	<p>公共施設等総合管理計画に基づく施設の除却及び今後の展望について問う。</p> <p>(1)亀岡会館は平成30年3月31日をもって廃止され、次年度の除却事業として1億4260万円が計上されている。</p> <p>①全てを撤去するには、どれくらいの期間がかかり、撤去費用は総額どれくらいかかるか。</p> <p>②跡地利用についての考えは。</p> <p>③代替施設についての考えは。</p> <p>(2)亀岡市中央公民館も平成30年3月31日をもって廃止され、除却事業として次年度予算に8510万円計上されている。</p> <p>①除却に要する期間と総除却費用は。</p>	<p>市長</p>

		<p>②跡地利用についての考えは。 ③代替施設についての考えは。 (3) 亀岡市厚生会館も平成30年3月31日をもって廃止される。 ①除却費用は計上されていないが、今後の予定は。 ②跡地利用、代替施設についての考えは。 (4) 亀岡市文化資料館は現在も活用されている。 ①活用期限について、どのように考えるか。 ②新文化資料館構想はできているのか。 ③新文化資料館を、いつ頃、どこに建設しようと考えているのか。 ④新文化資料館ができた時のオープニング企画などは何か考えているか。できれば亀岡で、京都国立博物館の佐々木丞平館長の協力を頂き、「円山応挙と円山・四条派」展、「雪舟と円山応挙」展、「円山応挙と狩野派」展などが開催できれば、全国の注目を集め、多くの人が来られると思うがどうか。</p>		
	6 広域幹線道路の整備促進について	<p>昨年12月10日、新名神の高槻から川西間が開通し、今年の3月18日には川西から神戸間が開通する。これにより中国自動車道、山陽自動車道、名神自動車道ともつながることになる。 (1) 府道茨木亀岡線の東別院町東掛へ出までの狭隘な区間の拡幅整備については、どのように考えているか。 (2) 東別院町東掛から曾我部小学校、国道423号に至る府道東掛小林線の一部拡幅整備が進められている。ここが整備されると、大阪府茨木市との交通が大変便利になるが、全線拡幅整備の計画はどのようになっているか。</p>	市長 担当部長	
	7 教育行政について	<p>亀岡市においては、中学校給食の普及充実は全国的に見ても遅れている。「愛情弁当」も大切だが、個々の生徒の事情に関係なく、亀岡の子どもは責任を持って亀岡市で育てるとの食育の思いが大切と考える。 (1) 昨年10月から詳徳中学校をモデル校として選択制の昼食弁当が実施されているが、現在、保護者・生徒の反響はどうか。 (2) 昼食弁当のアンケートは、実施されたのか。まだであるなら、予定は。実施済みであるなら、結果はどうであったのか。 (3) 中学校給食に対する教育長の思いは。</p>	教育長	
5	小川 克己 3月7日(水) 10:00~ ※一問一答	1 防災・減災対策について	<p>近年の異常気象に伴う風水害や、危惧される大地震などの災害に対する防災対策について問う。 (1) 市民に対する気象警報や防災・減災情報伝達の現状は。 (2) 亀岡市「防災情報かめおかメール」の登録</p>	市長 所管部長

		<p>2 公衆街路灯について</p> <p>3 市道川関小林線の安全対策について</p> <p>4 亀岡インター渋滞緩和について</p> <p>5 市立病院事業について</p>	<p>状況の推移は。 (3) 瞬時に情報が伝達できる防災無線についての考え方と、取組みについて問う。 (4) 平成30年度の防災・減災の意識や知識の高揚に向けた取組みは。</p> <p>公衆街路灯は、夜間における交通事故防止や犯罪抑止につながっている。灯具のLED化は地球環境への負荷が蛍光灯より軽減され、明るい公衆街路にもつながる。 (1) LED灯具交換助成事業の進捗状況は。 (2) 今後の予定は。</p> <p>市道川関小林線については、路側帯のカラー化や路面標示をはじめ、速度抑止の啓発などに取組まれている。 (1) 今後の取組みについての所見は。 (2) 速度規制についての考え方は。</p> <p>京都縦貫自動車道亀岡インターチェンジ下り線出口は、大型連休や観光シーズンには、多くの利用により、本線から出口信号にかけて渋滞が発生する。 (1) 亀岡市内への観光や施設利用に、利用者が今後ますます増えると思うが、渋滞解消について所見を問う。</p> <p>市立病院では、今年度、健康講座の開催をはじめ、改革に取り組まれていると聞く。 (1) 課題と次年度の抱負を病院事業管理者に問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>病院事業管理者</p>
6	<p>明田 昭 3月7日(水) 10:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡会館について</p> <p>2 子育て支援について</p>	<p>亀岡会館の解体については、長らく親しんできた者にとっては寂しい思いがする。亀岡会館の立地場所は今日までの亀岡の発展と共にあったものであり、文化・観光や地域コミュニティの中心として、今以上に充実した機能を持ったものが必要と考える。 (1) 今後の計画として、駅からの利便性を重視し、亀岡の祭りのミュージアムとして鉢の常設展示場を作ってはどうか。 (2) 現敷地の再利用のため、隣接地への拡張を考えてはどうか。 (3) 自治会や隣接地への説明は、どのような予定か。</p> <p>京都新聞に掲載された子どもの医療費支援を巡っての記事では、京都府内の多くの市町村が無料か自己負担200円の定額制にしているが、本市を含む6市町は3千円の上限額を設定している。中でも本市は小・中学生が対象となっており、子育て家庭には不利な状況にある。一方、日本経済新聞では歯止めなき自治体の補助競争と書か</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>れている。このように対立するマスコミ報道がある中で問う。</p> <p>(1) 亀岡市の現状と、今後についての考えは。</p> <p>(2) 医療費を補助するサービスの全国的な傾向は。</p>	
	3 都市ガスについて	<p>亀岡の都市ガスは一部の地域で供用されているようであるが、市域全体ではどのような状況か問う。</p> <p>(1) 北古世町の光忠寺付近から亀岡高校の前の道路、追分町のイオンまでは既にガス管は敷設済みと思うが、その後ガス供給はされているのか。</p> <p>(2) 下矢田町でもマンホールを開け、中を覗き込み測量している様子を見たが、新たに敷設の計画があるのか。</p>	市長 所管部長
	4 電線の地中化について	<p>今日までも地中化の質問は機会ある度に行っているが、良い答弁には至ってない。改めて問う。</p> <p>(1) 多くの銚の関係者が大きな期待を寄せる、見た目も美しく、安全性の向上も図れる、電線の地中化の計画は。</p> <p>(2) 道路と平行する電線は計画的に実施するとしても、大きな道路を横断する電線だけでも何とかできないのか、方策について問う。</p>	市長 所管部長
	5 楽々荘について	<p>昨年末に工事車両を見受けるようになり、2月初めにはチラシや看板で3月7日オープンと大きく広告されているところである。</p> <p>(1) 国・府の登録文化財があるが、客室との関係は問題ないのか。</p> <p>(2) 亀岡にとって誇れるものである楽々荘について、説明を求める。</p> <p>(3) 所有者と使用者共に、文化財に対しての理解はあるのか。</p>	市長 所管部長
	6 道路改修について	<p>12月定例会で「平成30年度の予定」と答弁があったカラー舗装の11町の道路改修について問う。</p> <p>(1) 平成30年度の予定路線はどこか。</p> <p>(2) 今後の予定は。</p> <p>(3) カラー舗装は表面が摩擦に弱いように思うが、強度的にはどうか。</p> <p>(4) アスファルト舗装の寿命は何年か。</p>	市長 所管部長
	7 雑水川の改修について	<p>内水害対策として、北町の緑橋上流が改修に着手されてから長い時間が経過している。現況について問う。</p> <p>(1) 改修形態が幾度となく変化しているが、なぜか。</p> <p>(2) 南郷池の見た目が良くない。浚渫が必要と思うがどうか。</p>	市長 所管部長

7	<p>馬場 隆 3月7日(水) 11:10~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 水害ハザードマップの作成について</p> <p>2 浸水想定区域図について</p> <p>3 京都スタジアム(仮称)建設問題について</p> <p>4 新火葬場整備について</p>	<p>平成20年度に作成・配布された亀岡市地震ハザードマップ、平成27年度に作成・配布された亀岡市土砂災害ハザードマップに比し、本市の洪水ハザードマップは平成18年度に発行・配布されて以来、10年以上が経過する。水防法改正による新ハザードマップは、いまだ発行・配布がされていない。これは、亀岡市民等が降雨等に対応した避難行動を起こす際に、適切な対応への障害となるのではないかと。ハザードマップ作成の検討はされているのか。以下の点について問う。</p> <p>(1)国土交通省の水害ハザードマップ作成の手引きは、平成27年の水防法改正により、主な改定のポイントとして3点が示されているが、具体的な説明を求める。</p> <p>(2)亀岡市において「早期の立退きが必要な区域」の検討はされているのか。</p> <p>(3)その区域があれば何カ所で、規模はどれくらいか。</p> <p>(4)地域における水害特性をどう把握しているのか。</p> <p>(5)住民目線の水害ハザードマップとなるように、どう検討しているのか。</p> <p>浸水想定区域図は、複数の箇所で堤防が壊れたり、水が溢れたりしたときにはん濫区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の区域と水深を示している。京都府では、鴨川・高野川の浸水想定区域図等24河川が示されているが、京都府管理の桂川・園部川は示されていない。</p> <p>(1)浸水想定区域図の作成はなぜ遅れているのか。</p> <p>(2)浸水想定区域図はいつになったら作成されるのか。亀岡市としての考えは。</p> <p>(3)京都スタジアム(仮称)整備事業と矛盾しているのではないかと。</p> <p>京都スタジアム(仮称)建設問題について問う。</p> <p>(1)京都スタジアム(仮称)意匠図では、ピットは何カ所設置され、その大きさは。</p> <p>(2)どのような工法で設置するのか。</p> <p>(3)地下水の3次元解析には、ピットの基礎工事が含まれているのか。</p> <p>(4)無排土鋼管杭以外の杭が存在するが、地下水への影響が生じるのではないかと。</p> <p>新火葬場整備について問う。</p> <p>(1)整備場所の評価10項目とは何か。</p> <p>(2)適正規模の火葬場整備・建設への所見は。</p> <p>(3)住民合意をどう積み上げていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	---	--	---

<p>8</p>	<p>山本由美子 3月7日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 移住・定住促進について</p> <p>2 いじめ防止対策について</p> <p>3 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び危機管理体制の整備について</p>	<p>全国的にも少子高齢化と人口減少の傾向が進む現在、本市もその例外ではない。「住み続けたいまち」「選ばれるまち」をめざし、人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を図ることを重要課題の1つとして、さらなる取組みが必要である。</p> <p>(1) 空き家バンクの登録数、成約数、利用希望登録数は。(成約数、利用希望登録数のうち市外は)</p> <p>(2) 子育て世代をターゲットに実施している移住・定住促進事業とその成果は。(移住促進特別区域の取組みも含む)</p> <p>(3) 子育て世帯は、こども医療費助成制度について、関心のある情報の1つとして注目されている。こども医療費助成制度の拡充について、本市の考えは。</p> <p>(4) 婚姻に伴う経済的負担を軽減するため、結婚により本市で新生活を始める方を対象に経済的な支援を行う結婚新生活支援事業の導入について、本市の考えは。</p> <p>(5) 奨学金の返済を支援し、本市への移住・定住、地元就職の促進を図る奨学金返済支援事業の導入について、本市の考えは。</p> <p>いじめ防止対策推進法が施行された以降も、いじめに起因する凄惨な事件が後を絶たない。文部科学省によると平成28年度に認知されたいじめは全国において32万3143件で、過去最多を記録した。深刻な数字と受止め、さらなるいじめ防止等の対策を推進することが重要である。</p> <p>(1) 亀岡市いじめ防止基本方針の見直しについて、検討状況は。</p> <p>(2) いじめの認知件数は。(小・中学校の平成27年、平成28年)</p> <p>(3) いじめの発見のきっかけは。</p> <p>(4) 早期発見のため実施されているアンケート調査から見えてくる、本市のいじめの態様、傾向とその対応について問う。</p> <p>(5) SOSの出し方教育としての取組みは。</p> <p>(6) 相談窓口として「かめおかサポートコール」を開設されているが、利用件数と周知方法は。</p> <p>(7) SNSやアプリを活用した、いじめ相談体制の構築について、本市の考えは。</p> <p>平成16年に市民によるAEDの使用が認められて以降、急速にその設置が進み、AEDを使用して救命された事例も増えている。しかしながら、いまだなお、全国で毎年7万人に及ぶ方が心臓突然死で亡くなっている。また、学校でも毎年100名近くの児童生徒の心停止が発生している。</p> <p>(1) 本市の小・中学校におけるAEDの設置状</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
----------	--	---	---	--

			<p>況は。(設置場所など)</p> <p>(2)部活動など休日や夜間の活動に対応する観点から、屋外に設置する考えは。</p> <p>(3)教職員へのAED講習の実施状況、危機管理体制の整備について、具体的な取組みは。</p> <p>(4)本市の小・中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性は。</p>	
9	<p>齊藤 一義 3月7日(水) 13:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 第4次総合計画施策の大綱について</p> <p>2 活力あるにぎわいのまちづくりについて</p> <p>3 一斉防災行動訓練について</p>	<p>にぎわいの創出と自然環境と共生する京都・亀岡保津川公園の整備事業について、予算が計上されているが、土地買収や整備だけでなく、一番大切な運用について問う。</p> <p>(1)公園の運用にあたっては、キャンプ用品やアウトドア用品のメーカーとの協賛などを探ってはどうか。</p> <p>日本の経済成長は人口減少の中にあっても製造業の顕著な伸びは言うまでもなく、過去最大級の増収であり、その他は外国人観光客の増加が要因となっている。京都市内や大阪ではホテルの建設ラッシュが続いており、この度、大阪はホテルの多さがG20開催地の決め手となった。本市もRESASから読み取り、EBPM手法で観光に本腰を入れてはどうかと考える。DMOでの取組みもあるが、交流人口増、観光客増にもう工夫必要と考える。</p> <p>(1)関西国際空港や大阪国際空港から利便性の良い交通アクセスが必要と考えるが、所見は。</p> <p>(2)京都縦貫自動車道経由で長岡京市・向日市・亀岡市から園部ラインの空港リムジンバス運行を検討してはどうか。</p> <p>(3)団塊の世代が増え、西国札所の西国巡礼めぐりがにぎわっているが、本市唯一の21番札所の穴太寺の案内板があまりにも寂しい。国道423号穴太寺口バス停を下車し進入する角に、市道西條重利線拡幅時に、看板とウエルカムガーデンを設置してはどうか。</p> <p>(4)観光誘致にタイに行かれたそうだが、仏教国であるタイで人気ナンバー1寺院である黄金に輝くワットポーは涅槃像であり、穴太寺の「なで仏」と共通していることをアピールしてはどうか。</p> <p>(5)西国巡礼といえば西国街道、また本市は山陰街道を聖火リレーコースとして2020年の東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレー中継地、又はコースに名乗りを上げてはどうか。</p> <p>京都市では、3.11を想い、3月9日午前9時30分にシェイクアウト訓練(京都市一斉防災行動訓練)が行われ、9時35分には緊急速報が鳴ることとなっている。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>4 亀岡会館除却事業について</p> <p>5 保育所統廃合について</p>	<p>(1) 9日に電波の届く地域の携帯が鳴り響くこととなり、本市内の消防団員が困惑されると思うが、団員に周知しているのか。</p> <p>(2) この際、本市も京都市に便乗し同日開催を検討してはどうか。</p> <p>懸案であった亀岡会館・中央公民館の建物除却に入られるようだが、安全・安心に十分配慮されるのは当然のこととして、解体業者は本市業者と思うが、問題は産業廃棄物処分であり、南丹圏域内でも様々な問題が生じていると伺っている。発注者である本市に係わってくることであり、問題は廃棄場所と持ち込み業者の方であると考え。そこで、「人と環境にやさしいまちづくり」を目指す本市として、以下の点について問う。</p> <p>(1) これだけ大きな解体事業になると、最低60トン以上のユンボが必要と考える。解体業者だけでなく、その業者が建設発生土(殻)を安全・安心に処分できる残土持ち込み業者をしっかりと見極め精査してもらえるのか。</p> <p>(2) この際、亀岡市排出事業者責任を付けることを検討されてはどうか。</p> <p>今年1月20日に東本梅町で市議会「わがまちトーク」を開催したが、最初から最後まで東本梅保育所の統合についてであり、また一方的な話であった。そこで、市の見解を問う。</p> <p>(1) 昨年度からの取組み内容について、保護者や自治会への説明会は行ったのか。</p> <p>(2) 統合する理由の説明会において、保護者の反応や意見はどうであったのか。</p> <p>(3) 現在の市の統合案と、今後の進め方は。</p> <p>(4) 今後、現施設を高齢者の居場所づくりや子育てサロン等に利活用してはどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
10	<p>竹田 幸生 3月7日(水) 14:10~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅整備計画について</p> <p>2 居宅介護事業所への行政処分について</p>	<p>平成25年3月に亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺)が策定され、整備が進められている。平成29年度に実施設計、平成30年度に工事実施となっている。</p> <p>(1) 計画に基づく整備は、あと2年で完了予定であるが、バリアフリー化の整備が完了したと考えるか。</p> <p>(2) 利便性向上に向けた今後の考え方はどうか。</p> <p>亀岡中央ケアプランセンターが運営基準違反、不正請求、虚偽報告により指定の全部の効力停止(営業停止)3カ月の処分を受けた。</p> <p>(1) どのような内容であったか。</p> <p>(2) 金額は、どの程度であったか。</p> <p>(3) 亀岡市の責任はあるのか。</p> <p>(4) 今後、未然に防げる方策はあるのか。</p> <p>(5) 平成30年度から、監査が京都府から亀岡</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 農家民宿についての亀岡市支援策について</p> <p>4 亀岡市高野林・小林土地区画整理事業及び事業に伴う地域や周辺整備について</p>	<p>市に移管されるが、体制は万全か。 (6) 行政処分はされたが、亀岡市として刑事告訴はしないのか。</p> <p>京都府が所管する農家民宿は、南丹市では以前から取組まれている。亀岡市でも実施する地域もあると聞く。個人農家で実施を予定している方もおられる。 (1) 農家民宿とはどのような取組みか。 (2) 亀岡市の現状はどうか。 (3) 京都府では支援策があるが、亀岡市独自の支援策はどうか。</p> <p>現在、亀岡市高野林・小林土地区画整理組合が設立され、事業に向けて準備が進められている。 (1) 事業の進捗状況はどうか。 (2) 事業認可がされて、公共施設管理者負担金及び市助成金の状況はどうか。 (3) 小林地区では事業推進にあわせて集会所の新築移転や消防屯所の合理的な場所への移転等を考えているが、亀岡市の支援策はあるのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
11	<p>並河 愛子 3月8日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)建設について</p> <p>2 国民健康保険事業について</p>	<p>本年1月20日、京都スタジアム(仮称)の起工式が行われた。水害の問題、環境問題、財政問題等、市民の理解が得られたとは言えない。 (1) 2013年(平成25年)台風18号で亀岡市内では、300棟を超える床上、床下浸水等、甚大な被害を受けた。当時と同じような雨量となればさらに被害は拡大するのではないか。周辺住民にとって不安な思いは募るばかりである。水害問題についてどのように認識しているのか。 (2) 台風18号で甚大な被害を受けた地域、集落へは説明されているのか。 (3) 2月18日の新聞では、「浸水危険性払拭できず」のタイトルで報道された。その記事では、「山田啓二知事は1月20日の起工式で、保津川(桂川)地域の安心安全を高める努力をしていかないといけないと述べ、建設地周辺の豪雨時の危険性について言及した」とされている。河川改修が急がれるが、進捗状況について問う。</p> <p>国民健康保険法の一部改正(2012年4月5日成立)により、国保の都道府県化が2018年度から実施される。市町村国保の「財政安定化」を理由に都道府県が標準保険料や収納率などを示せば、保険料の引上げや減免制度の縮小や廃止、保険料の滞納対策強化などが危惧される。 (1) 本年4月から国民健康保険事業が都道府県化となるが、これまでとの違いは何か。 (2) 保険料が値上げされるのではないかと問う</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 就学援助制度について</p>	<p>れているが、今後の見通しはどうか。</p> <p>(3) 平成29年度は、678世帯に対して短期証が発行されている。滞納されている原因は何か。また、滞納世帯に対する今後の対応はどうか。</p> <p>就学援助制度は、「義務教育は無償」とした憲法第26条等の関係法に基づいて、小・中学生のいる家庭に学用品費や入学準備金(新入学児童生徒学用品費等)、給食費、医療費などを援助する制度である。本市において平成30年4月に入学する児童から、入学準備金が入学前に支給されることになった。</p> <p>(1) 申込み状況は、例年との比較ではどうか。</p> <p>(2) 周知方法はどのようにされているのか。</p> <p>(3) 格差と貧困が広がる中で、就学援助制度の充実が求められるが、基本的な考え方はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
12	<p>富谷加都子 3月8日(木) 10:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 環境美化について</p>	<p>循環型社会の構築は、自治体や住民にとって最も身近でかつ重要な問題である。亀岡市ごみ処理基本計画が改定され、ごみ削減への中間目標年度を経て、評価と課題を問う。</p> <p>(1) 中間目標値に対するごみ排出量と年間ごみ処理コストの評価はどうか。</p> <p>(2) 燃やすごみの多くが紙類である。その中で、リサイクル可能な雑がみ分別推進をより啓発すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 集団回収協力団体を拡大するために、報奨金交付事業を実施している。本事業は市民意識を向上させ、循環型社会を加速させると考えるが、推進の取組みは。</p> <p>(4) ごみ減量や環境美化活動は、市民と行政の協働が不可欠である。美化ボランティア制度を導入し、広く市民や市内の事業所、団体などにオリジナル啓発用ジャンパー、ステッカーなどを配布し、まちぐるみで美化活動を推進している自治体がある。既存のボランティア団体も含め、これに取組む考えは。</p> <p>(5) 本市は、積極的に次世代の児童・生徒を対象に環境教育を実施している。その中で、海ごみサミット2012亀岡保津川会議主催の海ごみ環境学習は継続すべき事業であるとするが、今後の取組みは。</p> <p>(6) 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」に本市も参加している。2019年春限定のプロジェクトに1人でも多くの参加者を募るため、広報する考えは。</p>	<p>所管部長</p>

		2 小・中学校の学力向上への取組みについて	<p>学習指導要領の改訂を受け、ICT等を活用した学習活動の改善、プログラミングの必修化、5・6学年の外国語科新設、特別の教科として3・4学年の外国語活動、道徳教育など授業の改善は多岐にわたる。上記を踏まえ、学力向上に向けた本市の取組みを問う。</p> <p>(1) プログラミングの必修化に伴い、設備面の環境整備が課題だと考えるが、本市の小・中学校のICT活用状況はどのようになっているのか。(現在のコンピュータ1台あたりの児童生徒数と今後の目標は。)</p> <p>(2) 外国語教育支援員の配置と同じく、外部からのIT関係の人材も必要と考えるが、支援体制の充実の考えは。</p> <p>(3) 学力向上への課題をどのように認識し、課題解決のために本市はどう取組むのか。</p> <p>(4) 学習習慣の定着のため、地域未来塾関連予算が、来年度予算案に計上された。今後の事業展開を問う。</p> <p>(5) 地域未来塾実施の際、学校と地域の連携窓口担当はどのようにされるのか。</p> <p>(6) 今後、さらなる学習支援の機会充実を期待するが、拡充の考えは。(福祉施策の学習支援と連携できるのか。)</p> <p>(7) 学力向上のために、教員と児童・生徒が向き合う時間の確保が必須である。教員の負担軽減が課題と考えるが、改善された点は。</p>	所管部長
13	石野 善司 3月8日(木) 11:10~ ※一問一答	<p>1 平成30年度当初予算(案)について</p> <p>2 待機児童解消に向けた取組みについて</p> <p>3 投票率の向上のための施策について</p>	<p>平成30年度当初予算(案)は、総額309億4100万円、対前年度比8.0%の減額予算であり、少子高齢化に伴い社会保障経費の扶助費の増大と公債費の増大など、財政を取り巻く環境は大変厳しい状況である。</p> <p>(1) 予算編成に当たっての基本的な考え方は。</p> <p>(2) 予算のキーポイントはどこにあるのか。</p> <p>平成30年4月からの保育所(園)への入所希望者の受付(1次受付、2次受付)が終了した。公立・私立の保育所(園)の入所申込数と受入れ枠、待機児童の状況について問う。</p> <p>(1) 1次受付、2次受付の申込数は。</p> <p>(2) 公立・民間保育所(園)の申込数は。</p> <p>(3) 公立・民間保育所(園)の受入れ枠は。</p> <p>(4) 待機児童問題に改善の兆しは見られたのか。</p> <p>(5) 待機児童解消の見通しはどうか。</p> <p>投票率向上に向けた投票環境整備として、有権者の利便性を高めていくことは重要な課題である。</p> <p>(1) 期日前投票所の設置数のあり方について問う。</p> <p>(2) 近年、期日前投票の投票率は増加傾向にあ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>選挙管理委員会 委員長 所管部長</p>

		<p>4 高齢者支援について</p> <p>5 ゾーン30の区域指定について</p> <p>6 中学校給食実施に向けての進捗状況について</p>	<p>ると思うが、本市の状況はどうか。</p> <p>(3) 期日前投票所の複数設置に向けての課題は。</p> <p>(4) 選挙権年齢引下げに伴う、教育・周知のあり方について問う。</p> <p>(5) 指定病院などでの不在者投票の現状は。</p> <p>平成26年10月から国の予防接種法に基づく定期予防接種として肺炎球菌ワクチンがその対象となり公費助成が実現した。</p> <p>(1) 高齢者用肺炎球菌ワクチンの接種状況は。</p> <p>(2) 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の広報・周知はどうか。</p> <p>歩行者の安全を守るため、通学路などの生活道路で区域を定めて車の最高速度を時速30キロに制限するゾーン30指定区域が設置されている。</p> <p>(1) 本市の市域内の設置状況は。</p> <p>(2) ゾーン30導入の効果は。</p> <p>(3) 設置に向けての課題は。</p> <p>平成29年10月から詳徳中学校で試行的に、選択制デリバリー弁当(昼食提供事業)を実施している。</p> <p>(1) 生徒の反響はどうか。</p> <p>(2) 毎月の利用数は。</p> <p>(3) 今後の課題は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>平本 英久 3月8日(木) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育て環境のさらなる整備と拡充について</p> <p>2 空き家対策と移住・定住促進に向けたまちづくりについて</p>	<p>前向きに子育て支援に取り組む本市として、子育て環境のさらなる整備と拡充について問う。</p> <p>(1) 3月から保健センター1階において、子育てワンストップ窓口体制が整備されるが、どのような業務を行うのか。</p> <p>(2) ワンストップ窓口の目的はどのようなものか。</p> <p>(3) どのような効果を期待するのか。</p> <p>(4) 本市における待機児童及び潜在的待機児童解消に向けての取り組み状況と進捗はどうか。</p> <p>(5) 公立、私立を含めた保育士の人材確保はどうか。</p> <p>(6) 医療的ケア児の受け入れ対応に向けた取り組みはどうか。</p> <p>「住み続けたいまち」をめざす本市において、空き家対策や空き家を利活用した移住・定住促進に向けてのまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 空き家バンクが創設されてから現在までの成果はどうか。</p> <p>(2) 今後の空き家・空き室のさらなる利活用に向けての検討は行っているのか。</p> <p>(3) 耕作放棄地や所有者不明の農地についての現状と課題はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 災害に備えた安全・安心のまちづくりについて</p> <p>4 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>(4) 耕作放棄地等の利活用に向けて、今後の取組みは検討しているのか。</p> <p>(5) 本市における移住促進特別区域の指定についての現状と見通しはどうか。</p> <p>(6) 地区計画に基づいた今後のまちづくりをどのように考えているのか。</p> <p>(7) 空き家等対策計画の進捗はどうか。</p> <p>(8) 本市独自の空き家対策条例の制定に向けた進捗はどうか。</p> <p>本市における自然災害や火災に備えて、さらなる環境整備と今後の取組みについて問う。</p> <p>(1) 消防団員の人材確保や応募の現状と課題はどうか。</p> <p>(2) 消防団員の人員確保に向けての今後の新たな取組みと見通しはどうか。</p> <p>(3) 災害に備えた備蓄の現状はどうなっているのか。</p> <p>(4) 災害支援や受援について幅広い企業団体との協定が必要であるが、現状と課題はどうか。</p> <p>安全・安心のまちづくりをめざす本市において、防犯推進への取組みについて問う。</p> <p>(1) 現存する街路灯及び防犯灯のLED化について、進捗はどうか。</p> <p>(2) 各地域から申請のある防犯街路灯のLEDへの交換について、今後の見通しと計画はどうか。</p> <p>(3) 市道中矢田篠線の篠区間は通学路にも指定されているが、夜間は非常に暗い。防犯街路灯の新設は検討しているのか。</p> <p>(4) 市道北古世西川線の全線開通に向けた交通安全対策について、各関係機関との協議は現在どうなっているのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	<p>三上 泉 3月8日(木) 13:35~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 公共交通の整備充実について</p>	<p>市外からのスムーズな流入、交流人口の増加、交通安全、渋滞緩和など、様々な観点で道路網の整備や交通網の整備が行われているが、住んでいる市民、とりわけ、自家用車などの手段を持たない、いわゆる交通弱者と呼ばれる方々に優しい公共交通の充実という観点は、これからますます重要になってくる。</p> <p>(1) 高齢化社会に即した地域公共交通の充実についての基本的な考え方は。</p> <p>(2) 篠地域のコミュニティバスの試験運行について</p> <p>① 現在試験的運行をしている路線についての充実または変更の計画は。</p> <p>② 循環系の路線にすることで利用価値が高まると思うが、その実現性は。</p> <p>③ この3月に全面開通予定の市道北古世西川線を通る路線については、亀岡駅止まりでは</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 市道の整備について</p> <p>3 子育て教育であこがれのまちをつくることについて</p>	<p>なく、市役所やガレリアまで延伸することで、利用価値が大きく高まるのではない。</p> <p>④試験運行の期間が6カ月と聞くと、それでは周知徹底、利用者動向の調査といった点であまりにも短すぎるのではないか。</p> <p>⑤高齢者の割合が大きく増えていくであろう10年先のことを考えて、もっと長いスパンで計画を立てるべきではないか。</p> <p>⑥3月17日改正のJR嵯峨野線の運行時刻についての所見は。</p> <p>市道の 신설、整備、点検・補修等の施策についての考え方を問う。</p> <p>(1) 自動車の往來の観点からだけではなく、自転車利用者や歩行者の観点、とりわけ身体障害者、高齢者などの視点に立った道路整備について、どのような考え方をしているのか。</p> <p>(2) 安全対策からも市道整備と関わって、街路灯の設置は不可欠である。街路灯の設置についての基本的な考え方は。</p> <p>(3) この3月末に全面開通する市道北古世西川線における街路灯設置の計画は。</p> <p>教育諸条件整備について、長期的な見通しを問う。</p> <p>(1) 来年度以降、学校における学校司書の配置の計画は。</p> <p>(2) 図書館からの派遣ではなく、独自に配置すべきではないか。</p> <p>(3) 学校規模適正化計画は、教育効果という点では根拠に乏しく、また、廃校となった周辺地域人口の激減や、ふるさとを守り発展させていこうとする市民の意欲やエネルギーをそぐ結果となっている先行例が多い。もはや、まちづくりの根幹の考え方との整合性で見直しがされるべきだと考えるが市長の考えは。</p> <p>(4) 小学校における専科教育の教育的意義をふまえ、他市にない亀岡市の優れた施策である専科教育をもっと充実させるべきではないか。</p> <p>(5) 専科教育ともかかわって、他府県と比較して1人の教職員の授業持ち時間数が格段に多い今の実態を解消することを含め、教職員の長時間過密労働の実態把握と改善への具体的施策は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
16	<p>福井 英昭 3月8日(木) 14:10~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 公募型伐採と公募型浚渫について</p>	<p>河川の土砂の堆積については、浚渫が追いつかない。また河川に樹木が繁茂している現状もあることから、公募型による伐採・浚渫を提案する。</p> <p>(1) 過去には本市でもこのような制度があったのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 2022年問題について</p>	<p>(2) 市域内の河川には多くの土砂が堆積し、その上に立木が繁っている箇所がある。特に桂川においては、民間の浚渫を活用することで大いに浚渫が進み、また財政的にも助かると思うがどうか。</p> <p>(3) 河川に関しては府の管理のものが多く、問題になっている河川の大半が府の管理であるが、市の管理河川から制度を始める考えは。</p> <p>(4) 桂川の保津橋以北の整備計画の中に反映できないか。</p> <p>(5) 公募型伐採は亀岡市域内の森林についても準用できるのではないか。</p> <p>20数年前に取り入れられた生産緑地の制度だが、あと数年でその終期を迎える。このことについて問う。</p> <p>(1) 2022年問題とはどのようなものと認識しているのか。</p> <p>(2) 生産緑地とはどのようなものか。</p> <p>(3) 亀岡市内には、どのくらいの生産緑地があるのか。</p> <p>(4) 2022年を迎えると、亀岡市内や周辺市町にも影響があると予測されるが、どのように認識しているのか。</p> <p>(5) 生産緑地法の改正で10年間の延長ができるが、これについての所見は。</p> <p>(6) 所有者の意向を調査し、5年後・10年後の都市計画の参考とする方が有利ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 市道北古世西川線の開通について</p>	<p>市道北古世西川線は、年度内開通予定と聞いている。開通に伴う課題について問う。</p> <p>(1) 暫定開通の時期はいつか。</p> <p>(2) 年谷川東側の拡幅等が整い、完全開通するのはいつごろか。</p> <p>(3) 三宅踏切の踏切連動信号はいつから供用できるのか。</p> <p>(4) 三宅荘園周辺の狭窄等施設の撤去は。</p> <p>(5) 開通と同時に交通規制はされないのか。</p> <p>(6) 古世町向嶋地区の緊急時の避難経路の確保は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 新火葬場について</p>	<p>(1) 新火葬場整備検討審議会の現在までの進捗は。</p> <p>(2) 審議会委員の増員の効果は。</p> <p>(3) 審議会として結論を得て、答申される目途は。</p> <p>(4) 火葬場について、地元から意見を述べる機会はないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

17	<p>西口 純生 3月8日(木) 15:05~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 教育行政について</p> <p>2 桂川・支川整備について</p>	<p>小規模特認校制度の現状と今後について問う。</p> <p>(1) 小規模特認校に、今、何名の子どもが、どこの地域からどこへ通学されているのか。</p> <p>(2) 特認校をスタートした時点での、特認校の狙いとは何か。</p> <p>(3) 特認校への通学方法はどのようなものか。</p> <p>(4) 教育委員会として現状の特認校の評価はどのように考えているのか。</p> <p>(5) 特認校へのPR・広報は行っているのか。</p> <p>(6) 特認校から中学校への希望者は、どの程度把握されているか。希望者に対する通学方法はどのように考えているのか。</p> <p>(7) 教育委員会は、この特認校制度を継続・拡大しようとする考えはあるのか。</p> <p>(8) 本来、特認校の趣旨として、遠くても行きたいと思う教育環境があるのかという点が重要ではないのか。地域性も含めた特色のある教育の推進についての所見は。</p> <p>京都府の桂川上流圏域河川整備計画案が発表された。亀岡地域の桂川支川整備の現状と促進について、市民に情報を周知していただくためにも、説明を求め質したい。</p> <p>(1) 30年を見込んだ河川整備計画案は、上流圏域の亀岡にとって重要であり、整備の進捗が左右される大きな問題である。この整備計画について説明を受け、市議会特別委員会で京都府との意見交換会を開催した。そして修正・付加等の要請を行い、京都府はそれに応え、修正・付加を行った。その主な内容について説明を求める。</p> <p>(2) 特別委員会から意見交換会で京都府に申し入れた内容について、市としての所見は。</p> <p>(3) 整備促進させるため、下流の一番の課題は何かがあるか。その中で緊急特別事業として計画に入っている内容とは何か。</p> <p>(4) これからは下流の課題項目が1つ終われば上流の整備1つを進める方式で、上下流並行して整備促進を図れるように転換をしようと思うが、これについて見解は。</p> <p>(5) 桂川の支川名の追加表記は、一定評価する内容に修正されたとなっているが、当初計画案の支川名と、追加した支川名とは何か。</p> <p>(6) 要望活動の方針のあり方について、桂川整備促進の予算要望については、国へ別枠で要望することはできないものか。</p> <p>(7) 七谷川の整備促進の次年度以降の計画はどこまで実施されるのか。また、全体像は。</p> <p>(8) 支川の曾我谷川の堆積土砂浚渫整備について、どのように進捗が期待できるのか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	--	---	--

		<p>3 鳥獣被害対策について</p> <p>4 地域課題について</p> <p>5 保津外環状線について</p>	<p>鳥獣被害対策について問う。</p> <p>(1) 猟友会も高齢化が進んでいるが、亀岡市の中で捕獲専門チームの部署設置の考えは。</p> <p>(2) 今後の鳥獣被害の軽減策として、地元との協力体制も含め、効果的な対応策はないのか。</p> <p>地域課題について問う。</p> <p>(1) 保津保育所の老朽化問題について、耐震、交通安全、野生動物の出没、過去の災害の歴史、子どもたちの安全性から見て、亀岡市の考え方を問う。</p> <p>(2) 子どもの安全性を含めて、それにふさわしい場所を調査検討してほしいと思うが、所見は。</p> <p>保津外環状線の進捗状況について問う。</p> <p>(1) 一向に進まず、停滞している要因は何か。</p> <p>(2) 次年度以降の計画はどのようになっているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
18	<p>奥野 正三 3月8日(木) 15:40~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>2 消防団について</p> <p>3 保育所の統廃合について</p>	<p>昨年11月27日から12月1日にかけてセーフコミュニティ・セーフスクールの事前審査が行われた。その中の交通安全対策と防犯対策の審査について問う。</p> <p>(1) 交通安全対策の審査結果はどうであったのか。</p> <p>(2) 本市が進めるドライブレコーダーの普及状況は。</p> <p>(3) 防犯対策の審査はどうであったのか。</p> <p>(4) 防犯カメラのさらなる設置増に向けての考えは。</p> <p>近年、想像を絶する大規模な風水害や火災、地震が発生しており、そのたびに消防団員の迅速な活動が大変重要となる。しかしながら少子高齢化の影響もあり、団員数が減少に向かっていると考える。</p> <p>(1) 公に定める団員定数はあるのか。</p> <p>(2) 本市の人口・面積から考えられる団員の適正人数は。</p> <p>(3) 今後の団員確保・団員増に向けた対策は。</p> <p>本梅保育所と東本梅保育所の統廃合が検討されて約3年になるが、その後の経過は。</p> <p>(1) 保護者との話し合いは進んでいるのか。</p> <p>(2) 地域住民との合意は図れるのか。</p> <p>(3) 両保育所の園児・保護者の交流をしていると聞くが、そのメニューとこれまでの成果は。</p> <p>(4) 地域では、定住促進の取組みで園児増を目指しているが、統合時期の判断は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 学校の施設整備について</p>	<p>今年10月11日から12日に行われる全国へき地教育研究大会京都大会で、その分科会会場に畑野小学校が指定された。</p> <p>(1) 全国から関係者を迎えるに相当する整備がされているか。</p> <p>(2) 最低限、恥じない整備が必要と考えるかどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 市道とほ場整備の関わりについて</p>	<p>既に市道となっている所に、ほ場整備事業が施工される時、一時市道認定を外し、ほ場整備が完了してから市道に戻すことが通例と聞く。</p> <p>(1) この行為の工程はこれでよいのか。</p> <p>(2) この行為はどの部署が行うのか。</p> <p>(3) この行為がいまだ行われていない市道があると聞くがどうか。</p> <p>(4) その市道を把握しているのか。</p> <p>(5) 期限を設けて早急に市道に戻す必要があると考えるかどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>